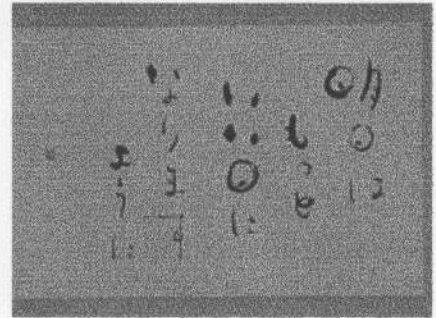
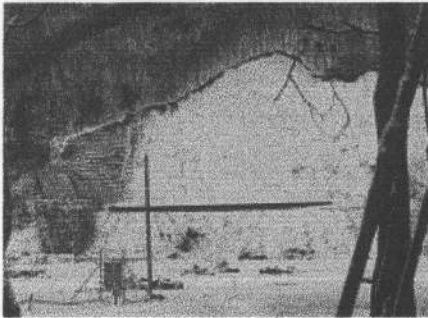


# がんばらぺ 便り

〒989 - 2511 栗原市花山字本沢百目木地内 仮設住宅談話室

URL <http://www17.plala.or.jp/zarabo/ganbape.html> e-mail [hanayama\\_ganbappe@yahoo.co.jp](mailto:hanayama_ganbappe@yahoo.co.jp)



## 花山地区避難状況 (3月15日現在)

避難指示 金沢 11世帯24人

避難勧告 中村 27世帯78人、浅布 30世帯76人、程野 2世帯4人

仮設住宅入居世帯 41世帯、花山借家世帯 5世帯、花山外避難世帯 24世帯

## 会員数 (3月15日現在)

81名 (正会員73・支援会員7・賛助会員1)

浅布25・中村19・金沢11、避難地区以外の花山19、花山以外7

## 活動記録

### ○くりこま耕英震災復興の会と第3回意見交換会実施

12月17日、社会安全研究所の木村先生を囲んで第3回意見交換会を「栗駒応援の会」で実施。市の復興計画とは別に、被災者側の復興計画を策定することにした。

### ○仮設住宅への風除け設置許可申請書の提出

12月17日、エントランス部を波板で囲う工事の許可申請書を提出。

12月22日、給湯器の排気の関係で県の担当が許可しないとして、市側から不許可の説明会あり。その後、スロープ西側に市が防風ネットを設置。

### ○被災住民による復興計画たたき台を協議

1月24日、「栗駒応援の会」で復興計画たたき台を協議。市の復興計画に反映してもらうよう更に細部を詰めることにした。

### ○12月10日市に提出した要望書の回答を受ける

1月28日、花山総合支所において市長立会いのもと、市側から回答書の説明を受けた。具体的な支援策は示されず、今後要望の方向で検討するというものだった。

### ○被災住民による復興計画を市に提出

2月8日、まとまった復興計画を市に提出。12日開催される市復興計画市民検討会の参考資料として配布して貰う事にした。

### ○第1回市復興計画市民検討会開催

2月12日、市役所で第1回市民検討会が開催された。委員9名の委嘱状が手渡された後、市復興計画案について検討。今回は課題と方針だけで具体的施策は示されず、確認や全体的意見で終わった。次回に事業メニューを示すと説明あり。会議の途中、委員に我々の復興計画を配布して貰った。

委員として、がんばっぺから大山会長と伊藤、耕英から大場会長と小野副会長が参加。

○「栗駒・花山の現状と私たち宮城の市民に何ができるかを考える集い」開催

2月15日、仙台市市民活動サポートセンターで開催された。グループディスカッションに先立って、栗駒・花山の復興の会から大場会長・伊藤がそれぞれの現状について説明をした。

○「日野薫」展開催

2月23日湖畔の里交流ホールで日野薫展を開催。書で被災者を元気付けるとともに散髪もしていただいた。

○第2回市復興計画市民検討会開催

2月27日、市役所で第2回市民検討会が開催された。市の事業メニューについて説明があった。76項目の事業があったがほとんどは既存の支援事業で、要望していた中では自力再建が困難な世帯に対して、花山に市営住宅を建設する「被災者住宅整備事業」、「集落支援員設置事業」が入った。また、山内集会所は全額市負担で新築するとの確約を貰った。

○栗原市議会へ被災者支援策の課題を提出

3月5日、栗原市議会はまもなく改選となるため、市へ提出した要望書の内容を市からの回答を踏まえて整理し、請願ではなく「避難生活及び各種再建問題に対する課題について」と題し参考資料として議会に提出した。新議会に改めて請願として提出予定。

○第3回市復興計画市民検討会開催

3月12日開催。第2回までの検討会を踏まえて最終案が示されたが、財政的・支援制度上の制約から委員の意見はほとんど入らなかった。現行の支援制度の課題について国に提言しようと提案したが、市として独自に働きかけていると。

○「栗駒・花山の現状と私たち宮城の市民に何ができるかを考える集いⅡ」開催

3月13日築館の市民活動支援センターで開催。特定非営利活動法人 コミュニティサポートセンター神戸の中村理事長から、支援を受けるだけでなく被災者自身が地域に何が出来るかを考え自立して行く事が重要との話があった。

会計報告 (3月15日現在)

収 入		支 出	
会費	94,000	事務費	129,825
義援金・見舞金等	2,749,425	事業費	465,237
雑収入(預金利息)	4		
合計	2,843,429	合計	595,062

花山の現状

道路・河川・崩落地とも順次復旧工事に入っています。住宅背後地の危険箇所は当該住人には説明があったようですが、地域住民には周知されていません。

一時帰宅は週5日で、3月3日から8時30分～17時(中村・浅布地区)、8時30分～13時(金沢地区)となった。一時帰宅の避難基準は大雨警報発令のほか大雪警報・融雪注意報の発令・温湯の砂防堰堤水位が1.5mを観測した場合が追加されました。

情報

被災者の皆さんで「がんばるべえ工房」を設立。色紙や短冊、飾り物を作成しています。公共施設、イベント等での販売のほか、電話による注文も受け付けています。

ご注文・お問合せ 三塚 0228-56-2042 大山 0228-56-2978